

11/5
(火)

献金について

コリントの信徒への手紙Ⅰ一六章14節

私がそちらに行ってから募金が行われることがないように、週の初めの日ごとに、各自収入に応じて、幾らかでも手元に蓄えておきなさい。(2)

困窮に陥っていたエルサレム教会に対する献金をパウロは呼びかけていました。ここで、献金の心得を伝えていきます。献金は会費とは違いますから、全員一律に半強制的に集めるものではありません。「各自収入に応じて」と勧められています。もし私たちが、「なぜ献金するのか」という心が分からなければ、献金は「取られるもの」になってしまうでしょう。献金は「献身のしるし」です。私たちの献身は、主イエス・キリストが私たちのためにどんなに大きなことをしてくださったかを思い起こすところに生まれます。あの十字架は、神の献身です。神は私たちのために、命を献げてくださいました。このキリストの献身に応答し、私たちも献身の思いを献金で表現するのです。主の恵みに感謝し、「私自身をあなたにお献げします」という思いで、心からの献げ物をしようではありませんか。